

例示、エギーユ・ディアブル

クラシックルート登攀

危機管理の実際 3×3 フィルタ方法論

背景コンテキスト…

ポールはモンブランの側面の素敵な登攀が行いたいと、ガイドのフレデリックに話した。夏の始まりであるのでポールはまだ環境に順応していません。フレデリックは、あまり冒険的ではないエギーユ・ディアブルを勧めた。

行程スケジュール… 6月12日～13日

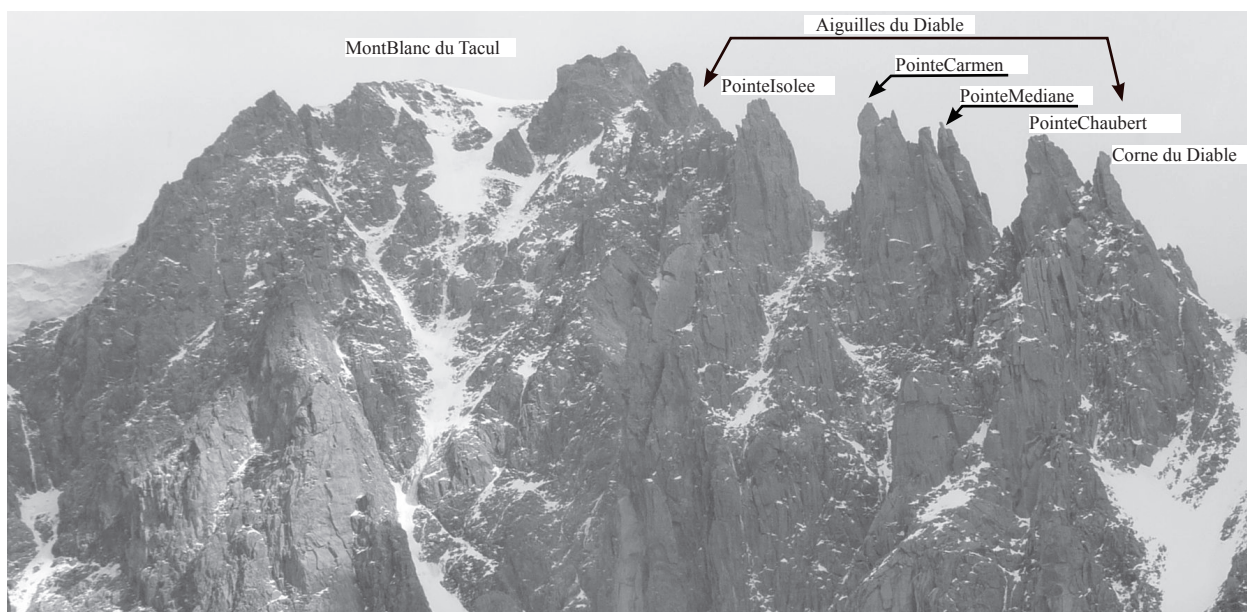
1日目…トリノ小屋へのアクセス
2日目…トリノ小屋からジェアン氷河～エギーユ・ディアブル縦走～モンブラン・タキキュール～下山

リスクの先験的な識別…

- ◎ 3500mから4210mの間の長大な尾根がルートである。よって、約10時間前後の登攀となる。
- ◎ 適切な技術、とともに早朝出発して下山するのが最も重要な判断である。予想外のビバークは、ここで非常に不快であると同時に思いもかけない結果をまねきかねない。

見本

- ◎ 氷河の夜間の通過にはクレバスへの墜落や取り付き斜面での落石の危険性がある。
- ◎ この時期の雷の可能性がある。
- ◎ 下山の降下中にセラック崩壊の危険性がある。
- 最初のレベルフィルタ… 4日前
基準1レベル・ルート
- ◎ 包括的な情報収集がフレデリックにとっては必要である。彼はこのルートを登った経験がないからです。
- ◎ ガイドの信頼できるネットワークで最近登ったガイドがいるかを調べて情報を合成しなくてはならない。
- ◎ ルート図、衛星写真と地図。
- ◎ ルート条件をウェブサイトで検索。
- ◎ 困難な通路や安全性の問題の識別。
- ◎ 引き返せないポイントである、意思決定ポイントは、どこにありますか？
- ◎ 装備の性能や条件は何ですか？
- ◎ 雪はどうですか？（潜在的な雪崩斜面、レッジ、岩の上の氷、等…）難しいかもしれないと思われる場所や条件を特定する。
- ◎ 或いは別の計画を行う。（プランB）



基準2レベル…ヒューマン・ファクター

注意…提示された他の例のように、ここでは他の場所よりも、クライアントは確かな経験に基づいています。高山ガイドはすべての技術的および身体的な要件をクリアしている、このような場合にはこのルートが合理的と考えることができます。リスク管理は、共通の過去の経験が多数ある場合は、はるかに容易になります。

クライアント…その現在の実際の能力を評価（自己評価とガイドの質問）

ガイド…高度または関連する健康上の問題条件が最適でない場合の制限、および技術的な進歩は常に必要で可能です。

○計画に対するガイドとクライアントの関係…コミュニケーションが目的の肉体的および精神的にポールを評価するには会話形式をとることがよいでしょう。この交換は、現在のクライアントのフォーム、トレーニング、欲求、動機…ルートの進行に悪影響を及ぼす問題かどうかを識別する為にフレデリックには必要です。

この時点で議論する点…

技術概要…実行される予定のルート、進行モードと場所を説明する。時間厳守の重要性を強調する。

ガイドとクライアントの契約上の確認…

●単に、危機管理に参加しているすべての人の権利と義務を明確にする。たとえば、拒否理由を提示します。ガイドが必要があると認めるときは、それは一方的な決断を下す場合があります。ポールは、その決定に従ってもらいます。

- ルートの解説、セラック崩壊のリスク、長い間行動することによるリスク。
- クライアントへの残留リスクの解説。
- 個人と共同の装備の説明をする。
- 保険。
- 財政的側面…一般的な予算と支払条件、経費の額の説明。また、クライアントから計画の変更、キャンセルの場合の条件を説明します。

ターで実行可能な予測が確認される必要があります。

フィルタの最初のレベルにプロの義務とは何ですか？

基準と意思決定の合成…

- 代替計画、キャンセルや延期の調整。
- 包括的な戦略を練る。…早朝出発（未知の領域+気温の上昇に配慮して。）
- アプローチ、及び各ポイントの登攀予定時刻をタイムスケジュールとして作る。
- ベルクシュルンド (rimaye)
- ポイント・シュベール (Chaubert)
- ポイント・メジアン (Mediane)
- ポイント・イゾレ (Isolée)
- モンブラン・デュ・キュール登頂と降下時。

○装備管理…装備の準備と確認
クライアントにこれらの調査結果と計画内容を伝える。

基準3レベル…気象状況、山の状況

天気の良い安定した状態の日程を確保する必要があります。最初のレベルのフィル

第二フィルタ…ポイント・シュベールにて

主要な意思決定場所…ポイント・シュベールの登頂は、それを超えて我々は、モンブ

ラン・デュ・タキユールの頂上に出てくる
ことができ、ルートの繋がりの境目を意味
します。ここから先に進んだ場合引き返す
のが困難になります。

基準の合成を行った後、決定はこの場所
で行わなければなりません。

続行するか、あきらめて退却するか？

基準1レベル…ルート

質問…

○最良のルートはどこですか？

○条件（雪の有無）とオプシオンは何です
か？

○ギヤップに懸垂下降する長さとその回数
は何回ですか？

○ジャミングの場合のテクニクは？

○登攀の継続を見越して次の針峰は、ポイ
ント・メジアンですか？

基準2レベル…ヒューマン・ファクター

質問…

○ポールの心身状態の評価（シユルンドの
横断の仕方はどうでしたか？）

○尾根につながる西斜面の登り方は、適切
でしたか？

○ここで一時停止することが、必要または

適切です。（快適さ、太陽、風力）

○フレデリックの自己評価（私は基準の評
価で何かを忘れていなかったか？）

○スケジュールは守られていますか？

基準3レベル…天気状況、山の状況

この基準（天気状況、山の状況）は第2フイ
ルターの決定的要因である。

ガイドが尋ねなければならないという問題
は、単純かつ決定的です…観測された気象
や予測はルートの登攀を続けることができ
るか？

第3フィルター…ルート全体

質問…

○技術の進歩で、墜落の場合はすべての場
面でそれを止めることが保証されていな
くはなりません。

クライアント及びガイドの二人とも？

特定のモードのビレイの選択が関連して
いますか？

実際の状況の例…

どのくらいの長さでロープを結びますか？

①氷河の上では？



②ベルグシュルントでは？

③西斜面の同時登攀時は？

④ポイント・シャブレーの前の曲がりくねった雪のリッジでは？

長さは安全で合理的なシステムなのだろうか？

古典的な間違いは、そこが「簡単」であるときに自分の身を守るためよりも「時間を無駄にしない」方向にシフトしてしまうことです！

そこで我々は、技術と時間の最適化の間の正しいバランスを定義する必要があります。

○セルフビレイの実施と信頼性の検証。

○各懸垂下降時のロープを結ぶ際の体系的な検証。

ロープのコミュニケーション…

モンブラン・デュ・キユの通常ルートを下降する時、クレバスにおけるスノーブリッジの存在に基づいて、ロープ間隔を調整する。疲労に起因するグループの休憩もセラックの崩壊落下の恐れのないエリアを選定する。

報告会終了

正式ではなしに、報告会の目的は、主に実行時に顧客の気持ちを知る方法です。そしてまた、より自分たちの期待に応え、後続するガイドディングに提案することができる。

これは、感情、印象、顧客満足度のレベルを知っているし、適切なマイナスを識別するための開かれた議論である。

経験と評価の資本…

ガイドは、事後解析を行うべきである、個人的判断か客観的判断かわからずガイドサービスがどのように開催されたか。

リスク管理は、複雑であるかどうかにかかわらず、それは、良い意思決定が何であるか識別するために、すべての側面を分析する必要があります。失敗は？過失は？または事故は？

他のガイドと情報を共有する…

情報の伝達と普及は、リスク管理のために特に重要です。

アーカイブの個人的なメモ

クライアントの応答に基づいて、パフォーマンスの分析…

質問…どのように良いですか？

